

第14回 2021 ニッポンの保育

オンラインフォーラム

2021年2月6日(土) SAT

13:00~15:00

テーマ

Withコロナ時代における ニッポンの保育

参加費
無料
定員1000名
(お申込み順)

2020年、世界は新型コロナウイルス感染拡大により大きな変化の時代を迎えることになりました。保育園を取り巻く状況では、実はBeforeコロナ時代から存在し、見過ごしてきた問題がコロナにより明らかになったり、改めて議論が必要な問題もできました。それぞれコロナ下での保育を振り返りWithコロナからAfterコロナに向かうニッポンの保育を語りあいましょう!

今回は『発達164~ウィズコロナ×保育・教育の多事争論』(2020・10・25ミネルヴァ書房)への寄稿を基にしながらか語りあいたいと思います。寄稿者である、汐見、青山、溝口に保育実践者である鈴木を加え、語り合いたいと思います。もちろん『発達164』をお読みでなくても、まったく問題はありませぬ。皆様のご参加をお待ちしております。

登壇者紹介

(しおみ としゆき)

汐見 稔幸

東京大学名誉教授、日本保育学会会長、全国保育士養成協議会会長、白梅学園大学名誉学長。社会保障審議会児童部会保育専門委員会委員長、一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事。専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。21世紀型の教育・保育を構想中。保育についての自由な経験交流と学びの場である臨床育児・保育研究会を主催。同会発行の保育者による本音の交流雑誌『エデュカール』の責任編集者も務め、学びあう保育の公共の場の創造に力を入れている。



(みぞぐち よしあき)

溝口 義朗

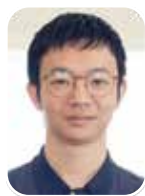
認証保育所ウッディキッズ園長。日本こども育成協議会副会長。家庭を思わせる「生活に根ざした保育」を実践。また子育てカフェ『秋川のひろば』を運営。大学、専門学校での非常勤講師の他様々な立場から保育分野の将来へ積極的に関わっています。



(あおやま こと)

青山 誠

社会福祉法人東香会「上町せんの国保育園」園長。保育、執筆、講演分野で活躍。子どもに関わる人の対話の場「サタデーナイト」主催。「わたしの保育~保育エッセイ・実践記録コンクール」大賞受賞。著書に『あなたも保育者になれる』(小学館)



(すずき ひでひろ)

鈴木 秀弘

社会福祉法人わこう村和光保育園副園長。7年間クラス担任を受け持ち、子どもや親や同僚に保育を学び、2013年より副園長となる。5歳児とぞん組担任時の「わこう鉄研究所」の保育実践にてソニー幼児教育支援プログラム最優秀園受賞。



お申込み

※日本こども育成協議会HPより事前予約が必要です【申込締切:2021年2月3日(水)迄】

下記、協議会のQRコードにアクセス後、トップページお知らせ欄の「ご案内&お申込み」よりご予約ください。お申込み頂きました方はフォーラム前日に参加に必要なID等をお知らせ致します。お申込みは先着順になっております。フォーラムに関するお問合せは下記までお願い致します。

主催：一般社団法人 日本こども育成協議会

お問合せ：(平日9:00~17:00)

TEL 03-5155-0970



一般社団法人

日本こども育成協議会

Japan Child Upbringing Conference